

ゼロカーボン・ドライブの実現（＝再エネ100%電力＋EV車）

ゼロカーボン ・ドライブ

再生可能エネルギー100%電力（再エネ100%電力）と
電気自動車（EV車）等を活用した
車両走行時の温室効果ガス排出量がゼロになるドライブ
（略称：ゼロドラ）

使用電気の脱炭素化

- ・市役所本庁舎、上下水道局庁舎及び千僧浄水場の電力を再エネ100%電力に切り替え
- ・年間約2,550トンの温室効果ガス削減（市公共施設の約10%に相当）

施設名	使用電力量 （年間）※1	温室効果ガス 削減効果（年間）※1
市役所本庁舎	約2,026MWh	約644トン
上下水道局庁舎	約214MWh	約68トン
千僧浄水場	約5,779MWh	約1,838トン

←兵庫県下初

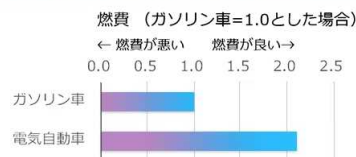
←全国初※2

※1 R2(2020)年度実績より ※2 給水人口5万人以上の浄水場に限る。

移動手段の脱炭素化

- ・公用車に電気自動車（EV車）を導入
- ・ガソリン車と比較して温室効果ガス削減（燃費の向上）

次世代自動車の燃費の比較（乗用車）



※ 環境省 COOL CHOICE HPより抜粋



公用車として購入する日産リーフ

ゼロカーボン・ドライブ

- ・市役所本庁舎に供給される再エネ100%電力（バイオマス発電由来）で電気自動車（EV車）を充電（市役所本庁舎では兵庫県下初）
- ・走行時の温室効果ガスがゼロになるゼロカーボン・ドライブ（通称「ゼロドラ」）を実現
- ・ゼロドラを市民や市内事業者に普及・啓発することを目的にデザインラッピングを施工

環境省が製作した
ゼロドラのロゴ



公用車のラッピングデザイン